

<資料>

2020年度鳥取大学教員免許状更新講習実施状況

神谷英雄

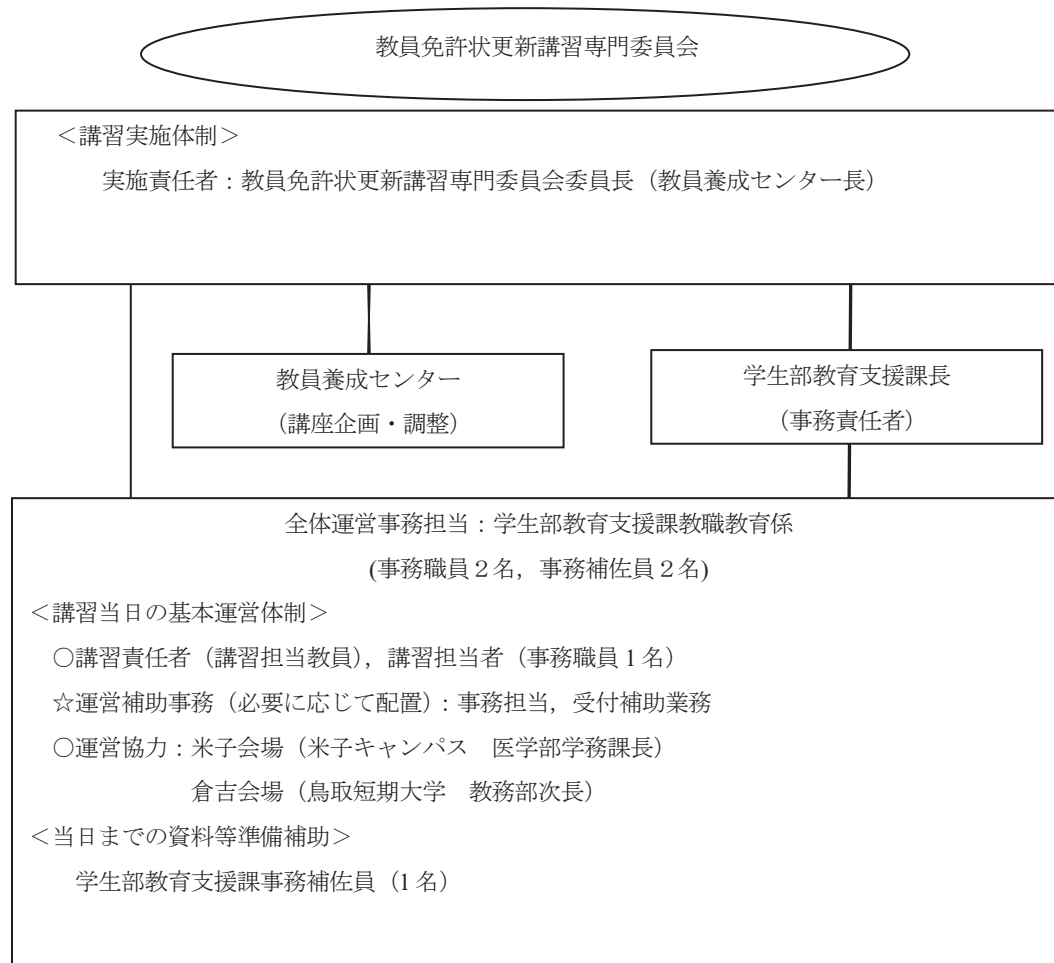
はじめに

2013年2月の大学教育支援機構の組織改組により、教育センター・教職教育部門及び附属学校連携部門を母体に、教員養成部門と附属学校連携部門の2部門を擁する教員養成センターが設置された。教員養成部門では、旧教育センター・教職教育部門から引き続き、教員免許状更新講習の講座企画およびコーディネイトを担当している。担当は、組織改組前（2009年度までは生涯教育総合センター・教職教育部門）の2008年度から13年目となった。

本稿では、2020年度の更新講習の運営体制と受講状況等を取りまとめておく。

1. 運営・実施体制

本学では講習開設にあたり、予備講習実施（2008年度）から全学レベルの教員免許更新講習専門委員会を設置し、運営事務は学生部教育支援課教職教育係が担当している。実施体制としては、本学の教員養成に関する機能強化を目的として設置された教員養成センターにおいて、センター長を中心として講座の企画・調整を行っている。



2. 受講状況

今年度は、鳥取市（鳥取キャンパス）、米子市（米子キャンパス、米子コンベンションセンター、米子市福祉保健総合センター）、倉吉市（鳥取短期大学）の県内3会場で、必修5講習、選択必修12講習、選択63講習を開設した。全体の受講状況は表1のとおりであった。本学の特色として、地方国立大学であるが、昨年度と同じく、隣接の兵庫県北部や島根県、岡山県など県外からの受講者が280人と、受講者数全体の13.5%を占めている点があげられる。

なお、必修・選択必修・選択講習別の受講状況は表2、表3及び表4のとおりである。

表1 更新講習受講者全体状況（単位：人）

必修・選択必修・選択合計 (延人数)	受講定員	受講者数	左の内訳	
			県内	県外
	3,532	2,070	1,790	280

表2 受講状況（必修領域講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	【必修】教育の最新事情①	大谷直史・ 柿内真紀	90	86	85	1
米子市	【必修】教育の最新事情②	大谷直史・ 柿内真紀	80	73	52	21
鳥取市	【必修】教育の最新事情③	大谷直史・ 柿内真紀	150	138	116	22
鳥取市	【必修】教育の最新事情④	大谷直史・ 柿内真紀	150	52	43	9
倉吉市	【必修】教育の最新事情⑤	大谷直史・ 柿内真紀	130	74	67	7
		合計	600	423	363	60

表3 受講状況（選択必修領域講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択必修】教育相談	小林勝年	40	37	31	6
米子市	【選択必修】学校を巡る状況の変化（米子）	大谷直史	90	77	56	21
鳥取市	【選択必修】国家・国民の道徳／ 民衆の道徳	一盛 真	40	19	15	4

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択必修】学校を巡る状況の変化(鳥取)	大谷直史	110	75	62	13
米子市	【選択必修】児童生徒の心身の発達とその支援	井上雅彦	50	49	48	1
鳥取市	【選択必修】子どもたちの指導・支援に活かす心理教育ー予防としての教育相談入門ー	石本雄真	40	40	34	6
鳥取市	【選択必修】国際理解教育の実践と外国につながる子どもへの支援	御館久里恵	30	16	12	4
鳥取市	【選択必修】ネットワークと教育	大森幹之	25	22	17	5
米子市	【選択必修】学校現場における教育相談の理論と実践	井上菜穂	60	38	35	3
倉吉市	【選択必修】特別支援教育と生涯発達支援ー乳幼児期と青年期に注目してー	國本真吾	35	33	31	2
米子市	【選択必修】情報セキュリティ入門	本村真一	50	16	14	2
倉吉市	【選択必修】体験学習のススメー挑戦、協力、コミュニケーション力を育むー	近藤 剛	32	19	17	2
		合計	602	441	372	69

4 受講状況(選択領域講習)(単位:人)

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択】【授業実践演習(中学校)】 国語 ※開講取り止め	小笠原拓	15			
	【選択】【授業実践演習(中学校)】 数学 ※開講取り止め	矢部敏昭	15			
	【選択】【授業実践演習(中学校)】 理科 ※開講取り止め	泉 直志	15			
	【選択】【授業実践演習(中学校)】 音楽 ※開講取り止め	鈴木慎一朗	15			

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択】【授業実践演習（中学校）】 家庭 ※開講取り止め	福山寛志	15			
	【選択】【授業実践演習（中学校）】 美術 ※開講取り止め	武田信吾	15			
	【選択】【授業実践演習（中学校）】 保健体育 ※開講取り止め	関 耕二	15			
	【選択】【授業実践演習（中学校）】 技術 ※開講取り止め	土井康作	15			
	【選択】【授業実践演習（中学校）】 英語 ※開講取り止め	足立和美	15			
鳥取市	【選択】アメリカ文化と社会	中 朋美	35	14	10	4
米子市	【選択】基礎から分かる昆虫学（米子）	中 秀司	80	78	72	6
鳥取市	【選択】文化政策入門 ～創造性を生かした文化的社会への展望～	野田邦弘	45	14	11	3
鳥取市	【選択】暮らしのなかの生化学	明石欣也	32	19	12	7
鳥取市	【選択】18歳選挙権と主権者教育 －有権者としての意識・行動の観点から－	塩沢健一	30	4	3	1
鳥取市	【選択】地域の歴史を発掘する－近世・近代における地域の「偉人」たち－	岸本 覚	40	21	18	3
鳥取市	【選択】「宇宙教育」への招待	三浦政司	20	17	17	
米子市	【選択】新教育課程を踏まえた算数教育の理論と実践①	矢部敏昭	30	25	24	1
米子市	【選択】地域と学校における健康と体力 －楽しく走る・歩く－（米子）	関 耕二	20	19	19	
米子市	【選択】新教育課程を踏まえた算数教育の理論と実践②	矢部敏昭	40	18	18	
米子市	【選択】ピア・ラーニング（協働学習）による授業デザイン －理論と実践の方法－	池田玲子	60	22	18	4
鳥取市	【選択】地域の美術・文化の歴史	筒井宏樹	30	17	14	3

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	【選択】日南町で地質調査を体験する	菅森義晃	8	8	8	
鳥取市	【選択】文化財の保存と活用	李 素妍	30	13	11	2
鳥取市	【選択】楽しい造形表現の実践 ～教材づくりと活動内容の設定～	武田信吾	18	17	15	2
鳥取市	【選択】自然災害のしくみと防災と減災について	黒岩正光	20	19	16	3
鳥取市	【選択】新しい音楽教育の理論と実践	鈴木慎一朗	20	20	16	4
鳥取市	【選択】ゲーミフィケーションで学ぶインセンティブ設計	三浦政司	20	11	10	1
鳥取市	【選択】マーケティング入門	白石秀壽	20	5	2	3
鳥取市	【選択】地域経済の現状と今後の展望	多田憲一郎	30	5	5	
米子市	【選択】日南町のご地層をみる	菅森義晃	8	8	8	
鳥取市	【選択】論理的思考力を可視化するためのレポート作成技術	桐山 聡	35	28	18	10
鳥取市	【選択】手紙を書く ―鑑賞と実際―	住川英明	25	23	22	1
鳥取市	【選択】ジェンダーと法	丸 祐一	40	37	35	2
鳥取市	【選択】新しいものづくり・技術教育の理論と実践 ※開講取り止め	土井康作	20			
鳥取市	【選択】生物多様性を中心に郷土の自然を考える ―博物館を活用して―	永松 大	20	18	13	5
鳥取市	【選択】英語ライティング指導の理論と実践 ※開講取り止め	滝波稚子	30			
米子市	【選択】小児保健と看護	南前恵子	60	58	54	4

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択】地域福祉の推進と学校の役割～超高齢社会における「福祉」との向き合い方を考える～	竹川俊夫	40	39	31	8
米子市	【選択】教員が知っておきたい生徒の健康：とっさの時の対応と心肺蘇生法の新しい教育法の紹介 ※開講取り止め	本間正人	45			
鳥取市	【選択】私たちの身の周りの放射線	山野好章	30	10	9	1
倉吉市	【選択】世代のこころをつなぐ生涯発達心理学と世代間交流	南 潮	80	52	51	1
鳥取市	【選択】山陰海岸ジオパークのご地層をみる	菅森義晃	8	8	4	4
鳥取市	【選択】ビタミン学入門ービタミンのはたらきと健康増進ー	渡邊文雄	40	39	32	7
倉吉市	【選択】造形教育のための教材研究	宮崎百合	30	28	26	2
倉吉市	【選択】子どもの成長発達と音楽表現	羽根田真弓	40	38	33	5
鳥取市	【選択】正義論	丸 祐一	40	13	12	1
米子市	【選択】最先端染色体工学研究技術を活用したイノベーション創出 ※開講取り止め	久郷裕之	25			
倉吉市	【選択】絵本を教育・保育の場に活かす	齊木恭子	30	29	28	1
鳥取市	【選択】困難を抱える子の理解と把握ー今あらためて学ぶ発達障害ー	石本雄真	75	73	68	5
鳥取市	【選択】鳥取砂丘の動物相・群集生態学と保全	鶴崎展巨	16	15	8	7
鳥取市	【選択】鳥取砂丘の教育活用をめざしてー地理・地学編ー	小玉芳敬	15	13	11	2
鳥取市	【選択】数字のウソー統計数字で騙したり騙されたりしないために	小野達也	30	9	7	2
鳥取市	【選択】日本の古典文学	久保堅一	40	8	8	

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	【選択】新しい英語教育の理論と実践	足立和美	30	12	9	3
鳥取市	【選択】【幼児教育実践演習】 ※開講取り止め	塩野谷斉	20			
鳥取市	【選択】基礎から分かる昆虫学(鳥取)	中 秀司	95	65	58	7
鳥取市	【選択】セキュリティ対策ことはじめ	木本雅也	25	25	22	3
鳥取市	【選択】民法における親権	丸 祐一	40	27	25	2
鳥取市	【選択】【授業実践演習(小学校)】 国語 ※開講取り止め	小笠原拓	20			
	【選択】【授業実践演習(小学校)】 国語(書写) ※開講取り止め	住川英明	20			
	【選択】【授業実践演習(小学校)】 算数 ※開講取り止め	矢部敏昭	20			
	【選択】【授業実践演習(小学校)】 理科 ※開講取り止め	泉 直志	20			
	【選択】【授業実践演習(小学校)】 外国語 ※開講取り止め	足立和美	20			
	【選択】【授業実践演習(小学校)】 生活 ※開講取り止め	福山寛志	20			
	【選択】【授業実践演習(小学校)】 音楽 ※開講取り止め	鈴木慎一朗	20			
	【選択】【授業実践演習(小学校)】 図画工作 ※開講取り止め	武田信吾	20			
	【選択】【授業実践演習(小学校)】 体育 ※開講取り止め	関 耕二	20			
倉吉市	【選択】食育と栄養	野津あきこ	35	35	32	3
米子市	【選択】教師と子ども・保護者を結ぶ教育相談	角南なおみ	40	36	33	3
鳥取市	【選択】ドローンで探る鳥取砂丘オアシスの謎	齊藤忠臣	20	19	15	4
米子市	【選択】新しい国語科の授業づくり (中学・高校編) ※開講取り止め	小笠原拓	40			

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択】新しい国語科の教材づくり (小学校編) ※開講取り止め	小笠原拓	40			
鳥取市	【選択】憲法史入門 ※開講取り止め	佐藤 匡	20			
鳥取市	【選択】憲法学入門	佐藤 匡	20	21	16	5
鳥取市	【選択】法律学入門	佐藤 匡	20	22	20	2
鳥取市	【選択】表現につながるからだあそび	木野彩子	20	14	13	1
鳥取市	【選択】地球環境と暮らしを守る化学 ※開講取り止め	南条真佐人	60			
鳥取市	【選択】地域と学校における健康と体力 一楽しく走る・歩くー(鳥取)	関 耕二	20	18	15	3
鳥取市	【選択】【特別支援教育実践演習】 知的障害のある子どもの理解と支援 (公開研究会) ※開講取り止め	三木裕和	20			
		合計	2,330	1,206	1,055	151

※「【選択】憲法学入門」と「【選択】法律学入門」は、開講取り止めとなった他講習の申込者を振り替え、定員数を超過して実施しているもの。

3. 今後の講習運営に向けて

今年度の講習運営を振り返り、講習運営に関して効果のあった点、困難だった点、及び今後の検討課題を簡単にとりまとめておく。

(1) 運営上の効果があった点

- ・必修領域講習は、例年と同じく東部地区(鳥取市)・西部地区(米子市)・中部地区(倉吉市,鳥取短期大学)で開設し、地理的バランスがとれた。また、受講見込み者数の関係から、東部地区・西部地区では2講習開催し、需要に応えることができた。
- ・選択必修領域講習は、東部地区6講習,西部地区4講習,中部地区2講習を開設し、需要に応えることができた。
- ・選択領域講習は、63講習開設(うち12講習を開講取り止め)した。受講者数の少ない講習もあったが、おおむね受講生からの評判も良く、需要に応えることができた。
- ・受講者の駐車スペースの確保について、必修領域講習や受講者の多い選択必修領域講習,選択領域講習は基本的に土日祝日開催とし(西部地区で平日開催とした講習については、会場を米子コンベンションセン

ター及び米子市福祉保健総合センターとした。)、また、受講者にはできるだけ公共交通機関を利用して来学願うことを周知したため大きなトラブルはなかった。

(2) 運営上、困難だった点

- ・全ての講習を対面式で実施することとしたため、新型コロナウイルスの感染防止の対応として、実施計画や方法の見直し(受講定員・会場の変更, 受付での検温, 手指・机等の消毒, 飛沫防止の設置など)を行うこととなり, 準備や調整に手間取った。
- ・新型コロナウイルスの関係で県外在住者(講師・受講者)を講習に参加させることの判断, 体調不良で受講キャンセルした場合の受講料返金の判断に難しい面があった。
- ・新型コロナウイルスの関係で開講を取り止めた講習が多くあり, 当該講習を受講予定であった者の他講習への振り替えの調整に手間取った。
- ・野外へ出向く講習でバス等の手配が出来ず, 事務担当者が共用車で運搬するなど対応に難しい面があった。
- ・米子コンベンションセンター及び米子市福祉総合保健センターでの実施において, 会場の借用時間の都合上準備時間が少なくなり受付が慌ただしくなった。
- ・台風接近時の受講者への連絡に注意を要した(当日朝6時の気象状況により中止の判断をし, 中止の場合はHPにて周知する)。

(3) 今後検討が必要な点

- ・新型コロナウイルスによる影響を踏まえ, 非対面式による講習の実施についても検討が必要である。
- ・講習中の緊急時(特に災害や休日に急病人が出た場合)における速やかな対応が必要である。
- ・特に平日の開催については, 受講者専用の駐車スペースを確保する等の対策が必要である。

神谷英雄(学生部教育支援課教職教育係 係長)